



令和7年4月15日 第1号

駒留中だより

響きの学び舎



世田谷区立駒留中学校 校長 加瀬 康夫
世田谷区下馬 4-18-1 TEL3424-3070

人間の価値は、その人が何を得たかではなく、その人が何を与えたかで決まる。

: アルベルト アインシュタイン



新年度が始まりました

暖かな春の日に始業式（4／7）、入学式（4／8）を行い、新入生108名を加え、全校生徒310名で新年度をスタートすることができました。入学式の式辞として以下のような話をさせてもらいました。

(前半略) …新しい仲間との関係を深める大事な3つのポイントを話させてください。

まず第1にコミュニケーションを大切にすることです。人と人が関係を深めるためには、相手とよく話すことが必要です。日々の学校の出来事でもいいですし、趣味や好きなことなどについて話すことでお互いのことをよりよく知ることができます。

第2に一緒に活動に取り組むことです。日々の授業を始め行事や部活動、生徒会活動など集団で行う活動が様々あります。共通の活動に参加して、一緒の目標に向かって頑張ることで自然と仲も深まり、お互いに協力し合う、助け合う機会が増えて、絆も深まります。

そして第3のポイントが「利他之心」をもつことです。「利他」とは相手のことを思いやり、助ける気持ちのことです。反対に自分のことだけを考える気持ちは「利己」と言います。自分の損得しか考えていない「利己的な考え方」などという言葉を聞いたことがある人もいると思います。「利他之心」とは、自分は後回しにしてまず相手のためになることすることです。皆さんが「利他之心」をもっていればお互いがお互いを思いやり素晴らしい集団ができるはずです。

ドイツの物理学者で「相対性理論」で有名なアルベルト・アインシュタインは「人間の価値は、その人が何を得たかではなく、その人が何を与えたかで決まる。」という言葉を残しています。相手に何を与えることができるかが大事であるという「利他之心」の大切さを伝える言葉

です。

しかし「利他之心」には難しい面もあります。自分が他の人のために何かをしても、相手から「ありがとう」などの言葉をもらえなかつたり、あなたが相手のために良かれと思って行ったことが相手に理解してもらえないということもあるかもしれません。私たち人間には人それぞれに違いがあります。得意なものや興味関心のあるものなどそれぞれ特長があります。108名の新入生の皆さんには108の個性があるのですから、自分の気持ちが伝わらなかった、誤解されてしまったということになってしまふかもしれません。ですから「利他之心」とコミュニケーションや一緒に活動に取り組むなど相手のことを知る取り組みと合わさって大きな力になるのだと思います。

そして、この3つのポイントをうまく働かせて仲間との関係を深める、人と人をつなぐ大事な役割をしているのが「言葉」です。笑顔で「おはようございます。」のあいさつをして、「ありがとう」の感謝の言葉、時には「大丈夫」と他人を気遣い、「一緒にやろう」と勇気づける、そんな言葉をたくさん使って仲間として深い関係を気付いていくことができればきっと素晴らしい集団が出来上がるはずです。

そんな集団を作れる中学校生活が送れるように校長の私も応援しますし、先生方も先輩方も応援しています。

響きの学び舎 世田谷区立駒留中学校

校長 加瀬康夫

人格の完成をめざして（4月）

心の扉を開く挨拶をしていますか？

「いってきます」と「ただいま」を必ず言うようにしています。毎日、気持ちのよい挨拶をしています。

挨拶をして、友達や先生と気持ちを通わせています。挨拶で地域の人とのつながりを広げていきたいです。



教職員の異動

<転 出>

<転 入>



令和7年度 駒留中学校教職員一覧

担当	名前	教科	分掌等	部活動
----	----	----	-----	-----

